

名古屋市中央卸売市場

流通量推計調査報告書(第5回)

■ 調査の趣旨及び方法

この調査は、名古屋市中央卸売市場で取引される生鮮食料品について、供給先・供給量の状況を把握し市場運営の参考にするとともに、国において実施する中央拠点市場基準への該当状況を確認するため、卸売業者・仲卸業者の協力を得て、調査票若しくは電子データにより回答いただいたものを集計した。

■ 調査対象者及び回収状況

名古屋市中央卸売市場本場、北部市場及び南部市場における下記の業者

▼卸売業者（青果部・水産物部・食肉部） … 回収状況 100%

▼仲卸業者（青果部・水産物部） … 回収状況 100%

青果部 本場 100.0%、北部市場 100.0%

水産物部 本場 100.0%、北部市場 100.0%

■ 調査実施日

青果部・水産物部 平成27年9月10日（木） [第2木曜日]
食肉部 平成27年9月 1日（火）～9月11日（金）

■ 調査内容

▼供給地域（調査対象者が販売した相手方の営業所の所在地）

◇名古屋市・豊山町（以下「開設区域」という。）

◇愛知県（開設区域を除く）

◇岐阜県・三重県

◇中部6県（静岡県・長野県・滋賀県・福井県・石川県・富山県）

◇その他

▼供給先業種（調査対象者が販売した相手方の業種）

◇一般小売店 （青果・鮮魚等専門小売店、売場面積250㎡未満の業者）

◇大型小売店 （売場面積250㎡以上のスーパー、百貨店、生協）

◇大口需要者 （給食業者、飲食業者）

◇問屋 （卸売業者、仲買業者）

◇その他の事業者（加工業者など）

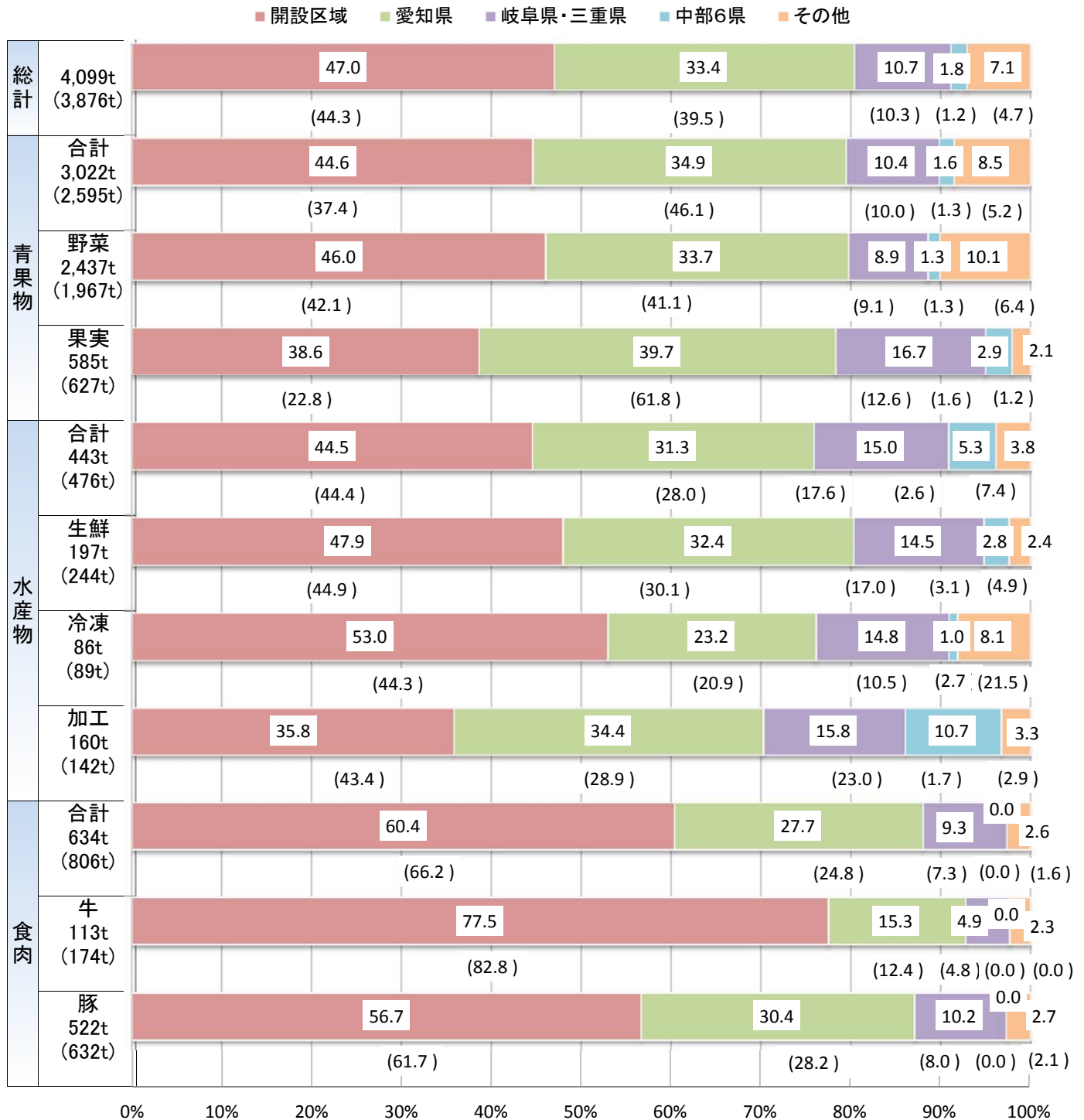
▼調査対象者が販売した品目とその数量

◇青果物 野菜・果実

◇水産物 生鮮水産物・冷凍水産物・加工水産物

◇食肉 牛・豚

品目別の供給地域の比較

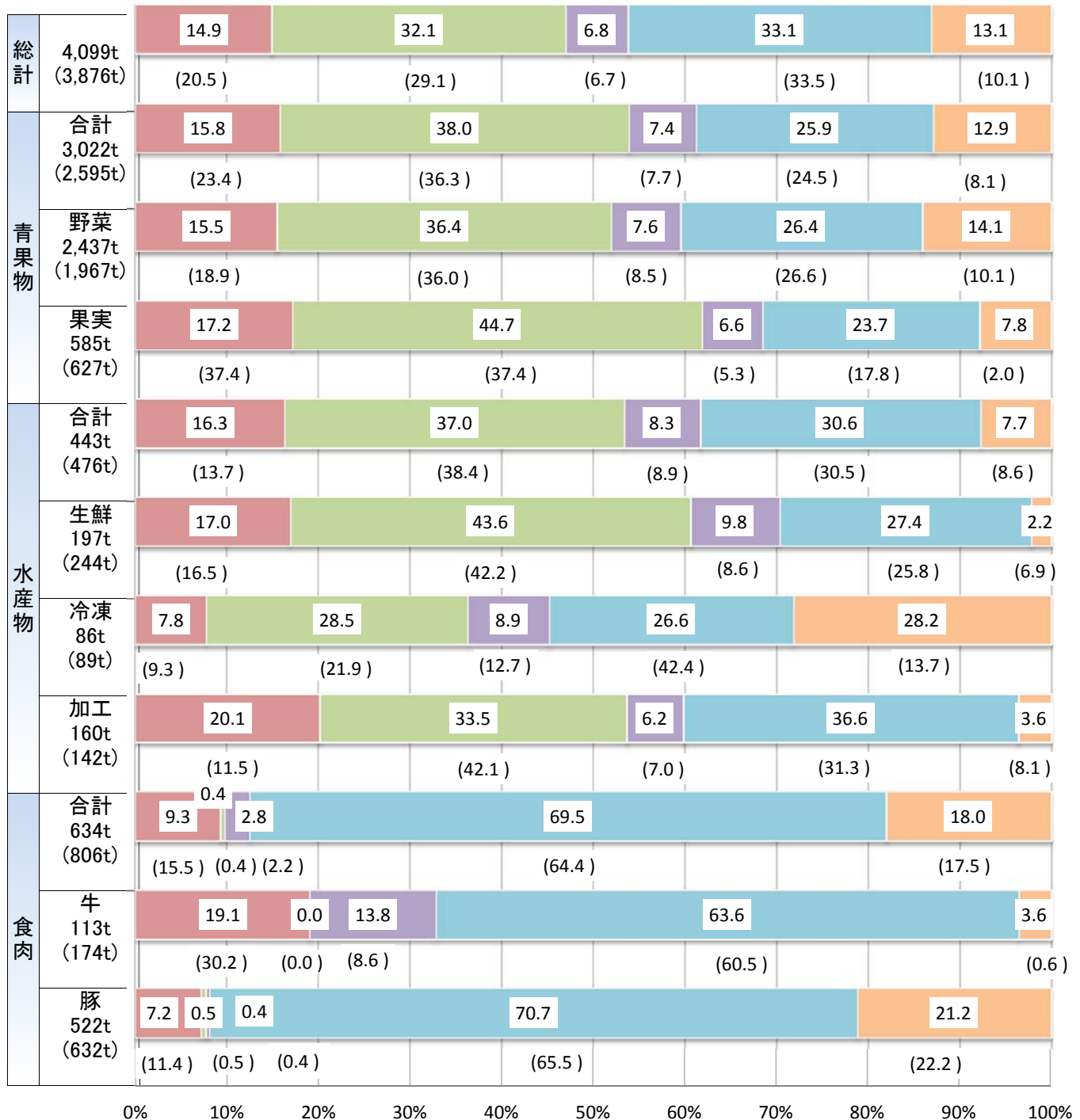


注：()内数値は前回〔調査日：青果物・水産物 平成26年9月11日(木)、食肉 平成26年9月1日(月)～12日(金)〕

- 青果物の供給先は、「開設区域」と「愛知県」で合わせて約8割となっている。
- 水産物の供給先は、「開設区域」と「愛知県」で合わせて7割を超えており、特に冷凍水産物においては「開設区域」が5割以上となっている。

品目別の供給先業種の比較

■ 一般小売店 ■ 大型小売店 ■ 大口需要者 ■ 問屋 ■ その他

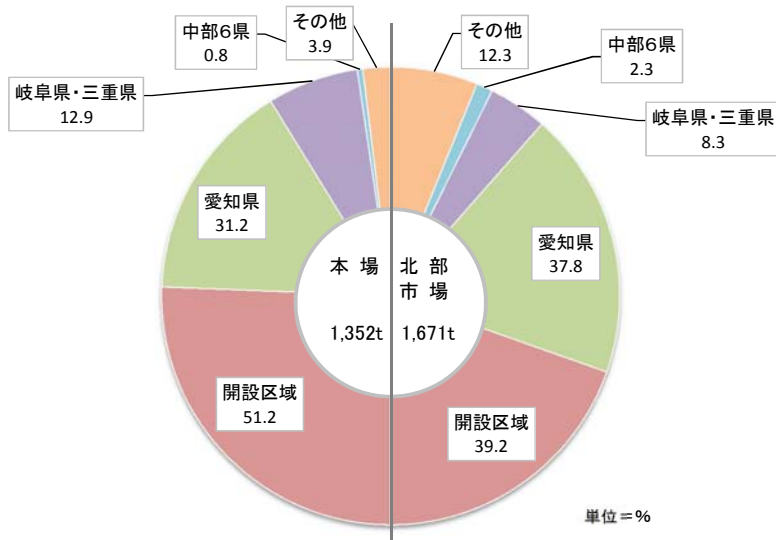


注: () 内数値は前回〔調査日: 青果物・水産物 平成26年9月11日(木)、食肉 平成26年9月1日(月)～12日(金)〕

- 供給先業種の割合は、青果物・水産物とも「大型小売店」の割合が最も高く、次いで「問屋」、「一般小売店」の順となっている。
- 食肉は、「問屋」の割合が最も高く約7割となっている。また、青果物・水産物と違い、「大型小売店」への供給は0.4%と低い。

青果物の市場別の供給先

■ 青果物の供給地域

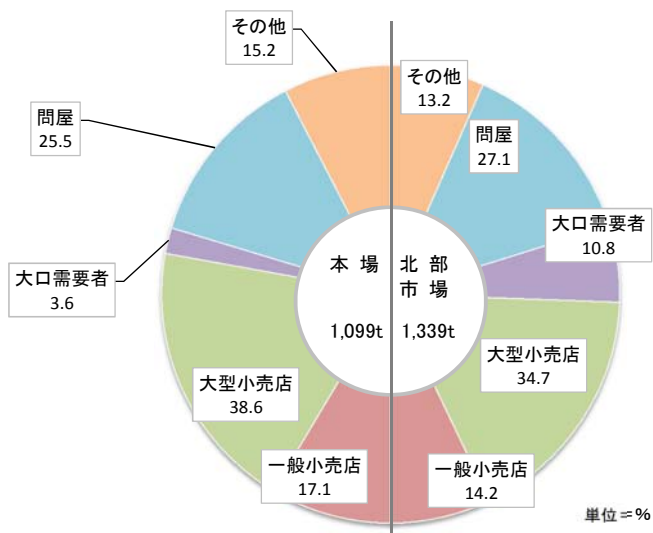


○ 青果物の供給地域は、本場・北部市場とも「開設区域」と「愛知県」を合わせて約8割を占めている。

○ 本場においては、「開設区域」が約5割と高い。

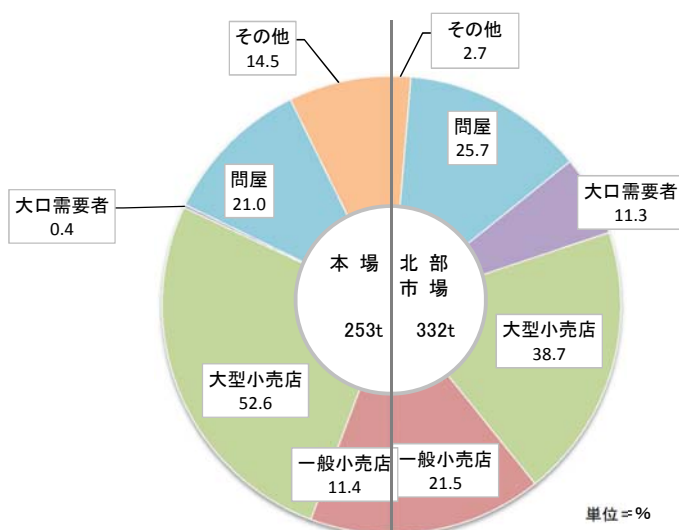
○ 北部市場は「その他地域」が約1割と本場に比べて高くなっている。

○ 野菜の供給先業種



○ 野菜の供給先業種は、本場・北部市場とも「大型小売店」「問屋」「一般小売店」の順となっている。

○ 果実の供給先業種

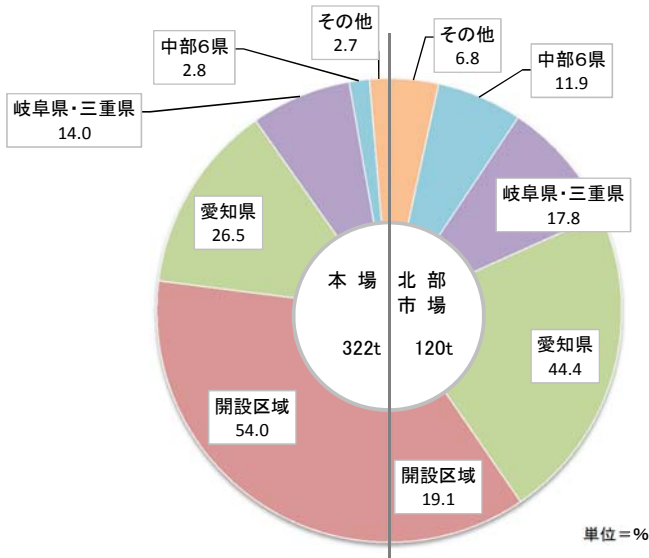


○ 果実の供給先業種は、本場・北部市場とも「大型小売店」「問屋」「一般小売店」の順となっている。

○ 本場は北部市場に比べ「その他の供給先」の割合が高く、北部市場は本場に比べ、「大口需要者」の割合が高い。

水産物の市場別の供給先

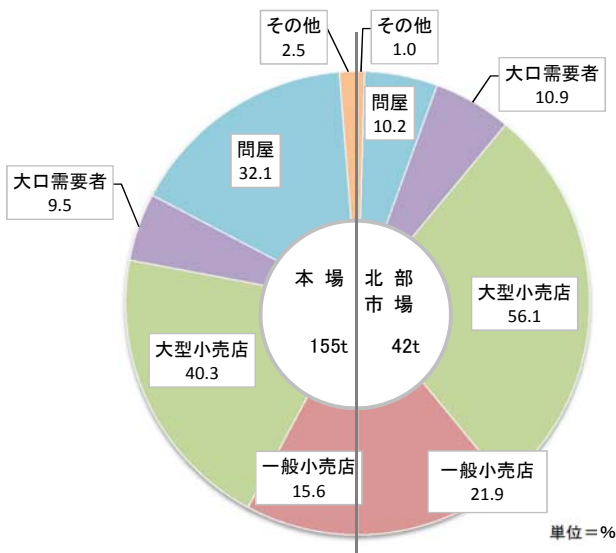
■ 水産物の供給地域



○ 水産物の供給地域の割合は、本場では「開設区域」が5割強を占め最も多く、「愛知県」と合わせ約8割を占めている。

○ 北部市場では、「愛知県」の割合が4割を超えている。本場に比較して、「中部6県」「その他」の割合が高くなっている。

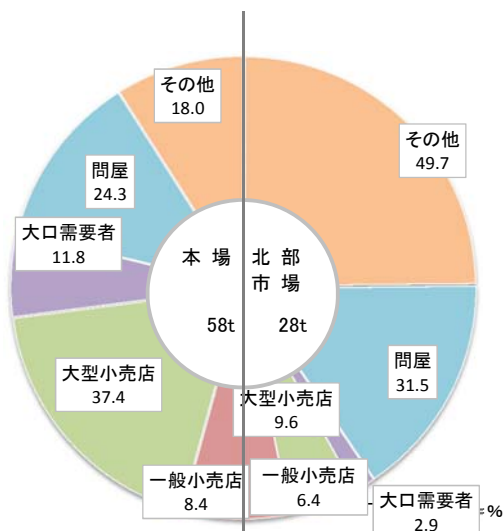
○ 生鮮水産物の供給先業種



○ 生鮮水産物の供給先業種の割合は、本場・北部市場ともに「大型小売店」が最も高く4割から5割を占めている。

次いで、本場では「問屋」、北部市場では「一般小売店」業種の割合が高くなっている。

○ 冷凍水産物の供給先業種

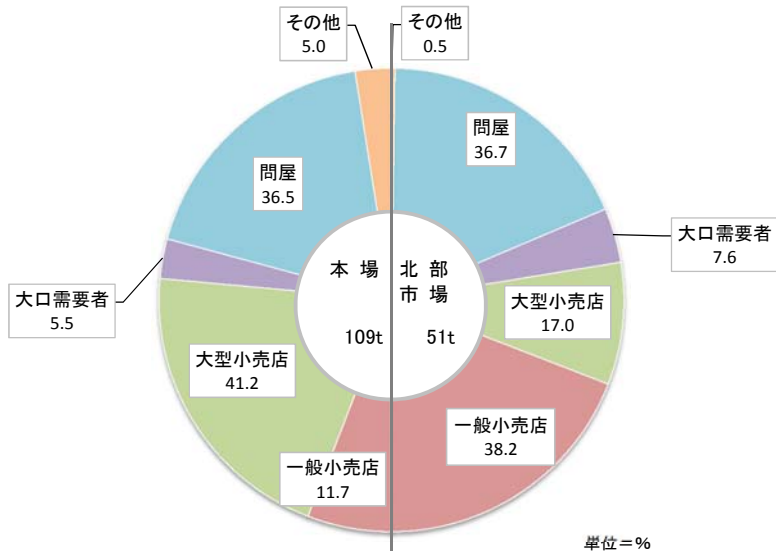


○ 冷凍水産物の供給先業種の割合は、本場は、「大型小売店」が最も多く、次いで「問屋」となっている。

○ 北部市場では、「その他」の割合が約5割と一番高く、次いで「問屋」が約3割で、本場で割合の高い「大型小売店」は1割弱となった。

水産物の市場別の供給先

○ 加工水産物の供給先業種

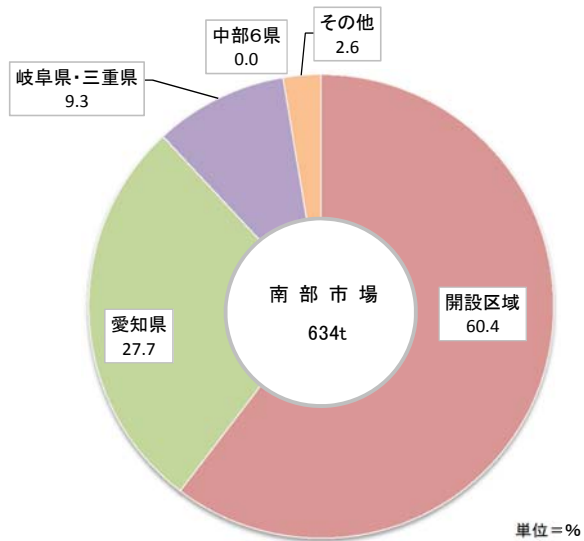


○ 加工水産物の供給先業種の割合は、本場は「大型小売店」が最も高いが、北部市場では「一般小売店」が最も高い。

○ 本場・北部市場とも、「問屋」の割合が高く、1 / 3 強となっている。

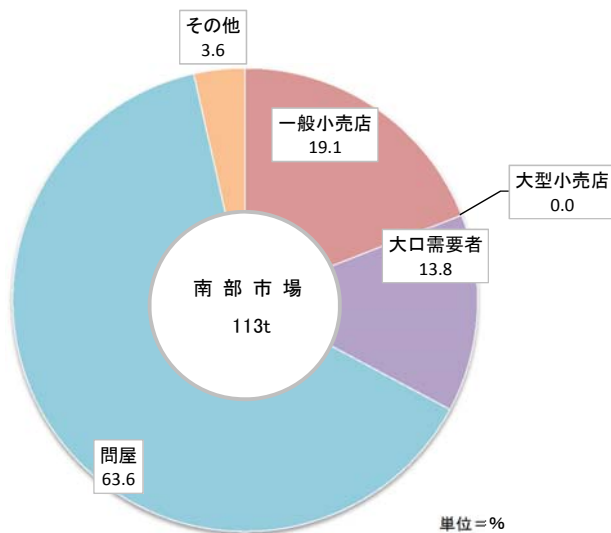
食肉の供給先

■ 食肉の供給地域



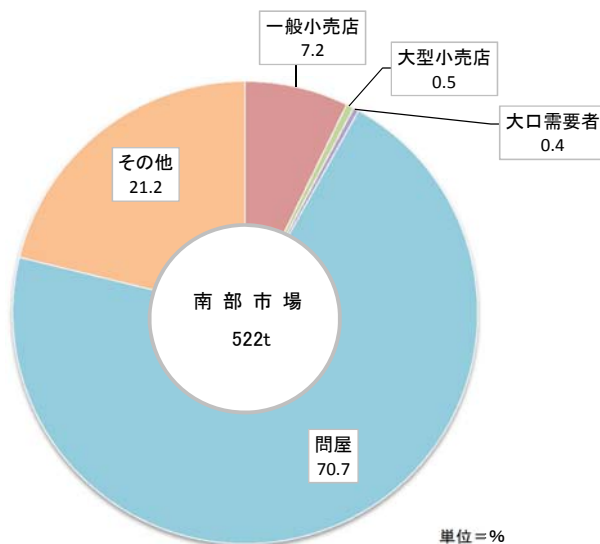
○ 食肉の供給先業種の割合は、「開設区域」が約6割となっており、「愛知県」を合わせると約9割を占めている。

○ 牛の供給先業種



○ 牛の供給先業種は、「問屋」の割合が最も高く、6割を占めている。
次いで「一般小売店」「大口需要者」の順となっており、3業種でほぼ10割を占めている。

○ 豚の供給先業種



○ 豚の供給先業種は、「問屋」の割合が最も高く約7割を占めている。
次いで「その他」「一般小売店」の順となっており、3業種でほぼ10割を占めている。

名古屋市中央卸売市場流通量推計調査報告書（第5回）
平成27年11月 発行

編集・発行 名古屋市市民経済局市民生活部消費流通課
名古屋市中区三の丸三丁目1番1号
電話（052）972－2439
Fax （052）972－4136